

電子化ドキュメントシステム論

Digital Document System

3学期		火曜日 7・8時限		講義室：共同研究会議室2及び東京サテライト	
担当教員	石塚英弘	研究室	208	オフィス7-	
科目の概要	<p>図書館情報メディアの中核となる電子化ドキュメントのシステムについて講義する。多様な情報提供サービスを可能とするための基礎技術として、文書構造記述言語としてのXML (Extensible Markup Language)とXMLによる文書記述、表示系としてのWeb技術、PDF (Portable Document Format)などを講じ、その観点から電子出版、オンラインジャーナル、電子図書館、アーカイブを論じる。また、既存の新聞、テレビ、映画などとの関係についても言及し、将来の可能性を考える。</p>				
授業予定	<ol style="list-style-type: none"> はじめに documentの元々の意味、ドキュメントにおける情報とメディアの位置づけ、ほか 文書構造とその記述言語XML 文書構造の特徴、階層構造、参照関係、XMLによるそれらの記述、スキーマなど Web出版のためのWeb技術 表示技術：スタイルシート言語、XSLT、クライアントによる処理、サーバによる処理等 PDF ページ記述言語：PostScriptとの関係、PDFの様々な活用 情報記述言語としてのXML、XML関連の規格と技術 対象はテキストだけではない。対象に適した記述言語が各種存在する。 電子出版、オンラインジャーナル、電子図書館、アーカイブ、マスコミなど 学生による発表と質疑応答 学生が各自興味を持ったテーマについて調査し、発表する。また、質疑応答を行う。 				
達成目標	<p>この授業を受け、自ら調査発表を行うことによって、次の事柄が分かるようになる。文書構造とそのXMLによる記述；Web出版のためのWeb技術；PDFの概念と技術；テキスト以外のデジタルドキュメントを記述する言語としてのXML：関連規格と技術；デジタルドキュメントとその関連分野（電子出版、電子図書館、アーカイブ、マスコミ）との関係。</p>				
評価の方法	<p>学生による発表と期末レポートにより評価する。</p>				
教科書または参考書	<p>無し。必要に応じて資料を配布する。</p>				
テレビ会議システムの利用	<p>有</p>				
その他					